

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立高島第五小学校

【総合的な学習の時間】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科と横断的につなげ、体験的な学習を取り入れているので、児童は意欲的に取り組むことができている。 ・授業以外の時間にも、興味のある内容を調べようとする児童も出てきている。 ・高学年は伝統的に取り組んでいる緑のカーテン・ハーブガーデン学習への参加が意欲的である。 ・テーマに対して、課題を自分で設定したり、調べたことを適切にまとめたりすることが十分でない児童がいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が課題を自分事としてもてるように学習の導入をていねいに行うようにする。 ・適切な資料やソフトを提示し、児童が主体的に取り組むことのできる活動にする必要がある。 ・課題設定の仕方や調べ方、調べたことのまとめ方など、児童一人一人にとって、適切な支援を行う必要がある。 ・まとめる際には長い文章でなく、相手が読みやすいように、伝えたいことや大事なことが何かを考えて短くまとめるように指導する必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が課題を自分事としてもてるように、課題設定の場面の指導方法をさらに工夫していく。 ・体験活動や動画を活用したり、児童にとって身近なテーマを設定したりして、テーマに対して児童が十分に関われるように学習材、単元構成を工夫する。 ・個別の支援を行う時間を十分に確保し、児童主体の活動となるようにする。 ・様々な調べ方やタブレットを活用したまとめ方を日常的に指導していく。 ・タブレット操作については、担任の支援のほかに友達同士の教え合いなどの活動を通して技能の差を埋めていくようにする。 ・他教科の学習を振り返りながら、調べ方やまとめ方などの指導を行い、児童が自分自身で問題解決学習に取り組めるようにする。 ・集めた情報を整理したり、分析したりする時間を確保し、自分なりの考えをもてるよう個別に支援していく。 ・学んだことや考えたことをわかりやすくまとめ、表現する方法を提示し、自分や友達の考え方の違いに気付くことができるようにする。